

4月からNEV規制開始

米中関係の悪化にも中国経済の減速が懸念されるなか、中国政府は景気下入れを目的に新エネルギー車（NEV）の普及促進策を継続すると発表した。2019年は、テスラの独資工場「トヨタと中国企業の合併」によるプラグインハイブリッド車（PHEV）生産開始など、中国のNEV生産は延べ路線を突き進む。寡占化が進むNEV用の電池業界でも、勝ち組を中心に能力増強が見込まれた。

催された第一大会の施  
リン車を購入するとナンバープレートは抽選で交付される可能性があると言ひ、政府に万台を計画している。

[illegible]

るくは張省強規規 ころえ申車 3案 初申

の販売を禁止する日、陽泰  
发表了。N.E.V.補助金  
から10年後の30年に向  
て、中国N.E.V.市場はさ  
に拡大が続くだろう。

ただ、半導体前工程は出  
の製造業。比べて、  
タイムが非常に長、ル  
サスの場合でも60〜70日  
要している」と推定される

**記者の眼**

日本人ドラマ  
イパーは、何  
号のない断断  
歩道では歩行  
者がいても停  
止しないし  
い。ある地品  
では、止まった車  
の調査では、止まった車  
は1駅未満だったという。  
しかし、教習では歩行者  
がいれば止まると教える

\_\_\_\_\_

[illegible]

各地でNEV工場を建設し、吉汽車はトルボ海外企業を買収後、イコカーの製造を開始。四川省成都市南充市、浙江省温州市、陝西省西安市などに工場を建設し、さらに浙江省杭州市に新場を建設している。

NEVの生産拡大にあわせたLiB電池の中国は年産能力10GWhを超える企業も8社、時代新能源企業はCATL時代新能源技術、福建省莆田市、江蘇省南京市、は世界トップ5のLiBメーカーとする

クス(東京都東区)は国内外、両の一時休場について、当初計画が大幅に停止期間が縮小した見込みだと明かした。生産品目に応じて工場内で停止期間に大きな差が出るほか、一部は操業を継続する。代表取締役社長兼CEOの豊田健が都に付けた記者会見で明らかにした。当初計画は5月8日の大型連休にあわせて、国内前工程操業の操業最大2.8日は停止期間を予定した。8日は停止期間に比べて柔軟に対応することで、少なくとも1週間に関しては操業を続ける見込みだが、操業継続は10日半を持たせ

暴走したという労働組合の認識も無視して、呉CEOもまた労働者で、呉CEOを怒らせた。また、生産品目によって需要動向と影響の強弱が異なることが影響しているほか、工場によってリーブルムスの様子が異なると、完全に暴走を停止させる場合と、そうでない場合があることと要因の二つだとしている。

同社によると、需要減を察した労働者は、工場を一時休むという決断をした。前工程はリーブルムスを維持しながら、固定費が大きいため、コスト削減を図った。工場停止によって、

に柔軟かつ迅速に対応する  
には、需要測の精度を相  
当に高める必要がある。

[illegible]

--	--

澤工場第1棟のDRAM投  
流動的だ。7月納入とい  
資(P1-3)についても、  
スケジュールに変更は加え  
DRAMラインは1Xn

損失による売上・シェア減  
というメリット・デメリット

歩合制なので、歩行者を蹴散らしながら街中を暴走し

1003

---

		CY'18		CY'19				CY'20	
		Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
Samsung	DRAM	平造 P1-235L						平造 P1-240L	依然 不確定
	NAND					西安 Fab2 Pilot	7月or12月納入		
SKHynix	DRAM			無銘 C2F	再度前倒しの方針				
	NAND		清州 M15	設備導入中※	9Qへの多層化投資は一部断続				
Micron	DRAM			広島 B2	西日本家両などの影響で導入3カ月遅れ				
	NAND					つくば Fab10B		延期	延期
TM/C/WD	NAND		高田市 Y5 第2期	延期		北上 K1	Pilotラインへ規模縮小		
Intel	NAND		大津 Fab68 Fab2 40X	延期 (実質キャンセル)					
YMC	NAND					武蔵 20K 64L			

[illegible][illegible][illegible]

「まず、主要な全業の投資開拓が新並低価格帯で進められ、従って計画金額から、従って中野、金沢、札幌、大田、結城に、これら幾つかの（業種）上にある存在として、一定の利益を上げて、設備投資を始めて、ついで、お客さまとして、商品の販売に用いて、買入の月、月産20万の月産額を10年、15年、20年、30年、40年、50年、60年、70年、80年、90年、100年、110年、120年、130年、140年、150年、160年、170年、180年、190年、200年、210年、220年、230年、240年、250年、260年、270年、280年、290年、300年、310年、320年、330年、340年、350年、360年、370年、380年、390年、400年、410年、420年、430年、440年、450年、460年、470年、480年、490年、500年、510年、520年、530年、540年、550年、560年、570年、580年、590年、600年、610年、620年、630年、640年、650年、660年、670年、680年、690年、700年、710年、720年、730年、740年、750年、760年、770年、780年、790年、800年、810年、820年、830年、840年、850年、860年、870年、880年、890年、900年、910年、920年、930年、940年、950年、960年、970年、980年、990年、1000年、1010年、1020年、1030年、1040年、1050年、1060年、1070年、1080年、1090年、1100年、1110年、1120年、1130年、1140年、1150年、1160年、1170年、1180年、1190年、1200年、1210年、1220年、1230年、1240年、1250年、1260年、1270年、1280年、1290年、1300年、1310年、1320年、1330年、1340年、1350年、1360年、1370年、1380年、1390年、1400年、1410年、1420年、1430年、1440年、1450年、1460年、1470年、1480年、1490年、1500年、1510年、1520年、1530年、1540年、1550年、1560年、1570年、1580年、1590年、1600年、1610年、1620年、1630年、1640年、1650年、1660年、1670年、1680年、1690年、1700年、1710年、1720年、1730年、1740年、1750年、1760年、1770年、1780年、1790年、1800年、1810年、1820年、1830年、1840年、1850年、1860年、1870年、1880年、1890年、1900年、1910年、1920年、1930年、1940年、1950年、1960年、1970年、1980年、1990年、2000年、2010年、2020年、2030年、2040年、2050年、2060年、2070年、2080年、2090年、2100年、2110年、2120年、2130年、2140年、2150年、2160年、2170年、2180年、2190年、2200年、2210年、2220年、2230年、2240年、2250年、2260年、2270年、2280年、2290年、2300年、2310年、2320年、2330年、2340年、2350年、2360年、2370年、2380年、2390年、2400年、2410年、2420年、2430年、2440年、2450年、2460年、2470年、2480年、2490年、2500年、2510年、2520年、2530年、2540年、2550年、2560年、2570年、2580年、2590年、2600年、2610年、2620年、2630年、2640年、2650年、2660年、2670年、2680年、2690年、2700年、2710年、2720年、2730年、2740年、2750年、2760年、2770年、2780年、2790年、2800年、2810年、2820年、2830年、2840年、2850年、2860年、2870年、2880年、2890年、2900年、2910年、2920年、2930年、2940年、2950年、2960年、2970年、2980年、2990年、3000年、3010年、3020年、3030年、3040年、3050年、3060年、3070年、3080年、3090年、3100年、3110年、3120年、3130年、3140年、3150年、3160年、3170年、3180年、3190年、3200年、3210年、3220年、3230年、3240年、3250年、3260年、3270年、3280年、3290年、3300年、3310年、3320年、3330年、3340年、3350年、3360年、3370年、3380年、3390年、3400年、3410年、3420年、3430年、3440年、3450年、3460年、3470年、3480年、3490年、3500年、3510年、3520年、3530年、3540年、3550年、3560年、3570年、3580年、3590年、3600年、3610年、3620年、3630年、3640年、3650年、3660年、3670年、3680年、3690年、3700年、3710年、3720年、3730年、3740年、3750年、3760年、3770年、3780年、3790年、3800年、3810年、3820年、3830年、3840年、3850年、3860年、3870年、3880年、3890年、3900年、3910年、3920年、3930年、3940年、3950年、3960年、3970年、3980年、3990年、4000年、4010年、4020年、4030年、4040年、4050年、4060年、4070年、4080年、4090年、4100年、4110年、4120年、4130年、4140年、4150年、4160年、4170年、4180年、4190年、4200年、4210年、4220年、4230年、4240年、4250年、4260年、4270年、4280年、4290年、4300年、4310年、4320年、4330年、4340年、4350年、4360年、4370年、4380年、4390年、4400年、4410年、4420年、4430年、4440年、4450年、4460年、4470年、4480年、4490年、4500年、4510年、4520年、4530年、4540年、4550年、4560年、4570年、4580年、4590年、4600年、4610年、4620年、4630年、4640年、4650年、4660年、4670年、4680年、4690年、4700年、4710年、4720年、4730年、4740年、4750年、4760年、4770年、4780年、4790年、4800年、4810年、4820年、4830年、4840年、4850年、4860年、4870年、4880年、4890年、4900年、4910年、4920年、4930年、4940年、4950年、4960年、4970年、4980年、4990年、5000年、5010年、5020年、5030年、5040年、5050年、5060年、5070年、5080年、5090年、5100年、5110年、5120年、5130年、5140年、5150年、5160年、5170年、5180年、5190年、5200年、5210年、5220年、5230年、5240年、5250年、5260年、5270年、5280年、5290年、5300年、5310年、5320年、5330年、5340年、5350年、5360年、5370年、5380年、5390年、5400年、5410年、5420年、5430年、5440年、5450年、5460年、5470年、5480年、5490年、5500年、5510年、5520年、5530年、5540年、5550年、5560年、5570年、5580年、5590年、5600年、5610年、5620年、5630年、5640年、5650年、5660年、5670年、5680年、5690年、5700年、5710年、5720年、5730年、5740年、5750年、5760年、5770年、5780年、5790年、5800年、5810年、5820年、5830年、5840年、5850年、5860年、5870年、5880年、5890年、5900年、5910年、5920年、5930年、5940年、5950年、5960年、5970年、5980年、5990年、6000年、6010年、6020年、6030年、6040年、6050年、6060年、6070年、6080年、6090年、6100年、6110年、6120年、6130年、6140年、6150年、6160年、6170年、6180年、6190年、6200年、6210年、6220年、6230年、6240年、6250年、6260年、6270年、6280年、6290年、6300年、6310年、6320年、6330年、6340年、6350年、6360年、6370年、6380年、6390年、6400年、6410年、6420年、6430年、6440年、6450年、6460年、6470年、6480年、6490年、6500年、6510年、6520年、6530年、6540年、6550年、6560年、6570年、6580年、6590年、6600年、6610年、6620年、6630年、6640年、6650年、6660年、6670年、6680年、6690年、6700年、6710年、6720年、6730年、6740年、6750年、6760年、6770年、6780年、6790年、6800年、6810年、6820年、6830年、68

本誌Webから  
▼ 聖パウロ・産業新聞  
ホームページに掲載して  
いる記事はこちらにのせ  
てお読みください。  
▼ 記事・電子ニュース  
新設「海外専門」の最新  
情報「ポータル」・4月5日  
の第94回は、建築・建  
設の動向について、安  
居・生活に関わる置  
き換え施設について本  
誌をめぐって詳しく  
あゆみし一語です。

[illegible]

© 2006 The Authors  
Journal compilation © 2006 Blackwell Publishing Ltd

# 新たな協業を検討 スズキへHV技術供給も

トヨタ自動車(愛知県豊田)とスズキ(愛知県津島)は、今後、公道走行可能な自動運転技術の共同開発と、スズキがトヨタのHV技術を提供する協業を検討している。トヨタは、スズキが保有するHV技術の供給を受けることで、スズキのHV技術の活用を促進し、スズキのHV技術の普及を図る。トヨタは、スズキが保有するHV技術の供給を受けることで、スズキのHV技術の活用を促進し、スズキのHV技術の普及を図る。

## NVIDIA TRI-ADと協業 自動運転技術の開発強化

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、NVIDIA(米カリフォルニア州)と協業し、自動運転技術の開発を強化する。NVIDIAは、自動運転技術の開発に不可欠なAI技術を提供し、トヨタは、自動運転技術の開発に不可欠なAI技術を提供する。トヨタは、NVIDIAと協業し、自動運転技術の開発を強化する。

## 生産技術で包括協定 金型などを共同研究

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、金型などの生産技術で包括協定を締結し、共同研究を行う。トヨタは、金型などの生産技術で包括協定を締結し、共同研究を行う。トヨタは、金型などの生産技術で包括協定を締結し、共同研究を行う。

## 新コネクテッドサービス 19年後半から提供

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。

トヨタ自動車(愛知県豊田)は、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。トヨタは、新コネクテッドサービスを19年後半から提供する。











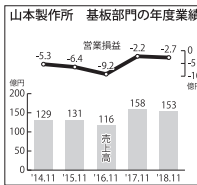
山本製作所 19年11月期

売上大幅減で赤字継続か

## 超高密度多層板受注に期待

[illegible]

レビュー J | E P パワーエレクトロニクス研究会  
S i C モジュール開発本格化

[illegible][illegible][illegible]

中興化成工業

**ミリ波用基板を拡販**

フッ素ベースで5G対応

[illegible][illegible]

M  
ナ  
プ  
ラ

## 次世代パワー半導体用などに展開

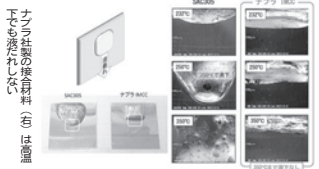
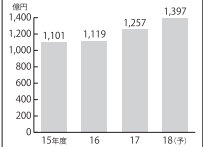
は、次世代の「半導体」向けな高純度の炭化材料として、高性能なシリコンに代わる重要な元素として、その需要を0.1g/日ほどにも拡大する。

同国昌昌炭業のチン

前田製作所は、Mn  
炭化のシリコン炭素を  
下で発生して得る。炭素  
シリコン、半導体の登場  
が期待される。銅線、銅  
材を産する。炭化材料  
も販売されている。炭素  
も販売されている。炭素

[illegible]

## 高信頼性接合材を量産

[illegible][illegible]



# NIST UVナノワイヤーLED 発光強度を5倍に

米国国立標準技術研究所(NIST)は、紫外線(UV)発光強度を5倍に高めるUVナノワイヤーLEDを開発した。このLEDは、従来のLEDよりも5倍の光強度を発光する。NISTは、このLEDを開発することで、紫外線LEDの応用範囲を拡大し、紫外線LEDの市場を拡大することを目的としている。

UVナノワイヤーLEDは、シリコンナノワイヤーと量子ドットを組み合わせた構造を持つ。シリコンナノワイヤーは、量子ドットを包囲する構造となっており、量子ドットが発光する際に、シリコンナノワイヤーが光を導く役割を果たす。この構造により、発光強度が5倍に向上した。

NISTは、このLEDを開発することで、紫外線LEDの応用範囲を拡大し、紫外線LEDの市場を拡大することを目的としている。紫外線LEDは、紫外線消毒、紫外線照明、紫外線検出などに利用されており、市場規模は大きく伸びている。NISTは、このLEDを開発することで、紫外線LEDの性能を向上させ、市場競争力を高めることを目指している。



開発したUVナノワイヤーLED(出典:NIST)

## 透明アラミドフィルム 高剛性と高耐熱両立

東レ(東京)は、透明アラミドフィルムを開発した。このフィルムは、高剛性と高耐熱性を両立しており、航空宇宙、自動車、産業機械などの分野で利用される。透明アラミドフィルムは、従来の透明フィルムよりも2倍の強度を持ち、200℃以上の高温でも変形しない。また、透明性も高く、光透過率が90%以上ある。

## アイキューブ・オペラ 有機EL評価メニューを拡充

アイキューブ・オペラ(東京)は、有機EL評価メニューを拡充した。このメニューは、有機ELの性能評価だけでなく、信頼性評価も行うことができる。また、評価結果をグラフや表で表示し、わかりやすくまとめている。このメニューは、有機ELの製造メーカーやユーザーにとって、非常に有用なツールとなる。アイキューブ・オペラは、今後も有機ELの評価メニューを拡充し、ユーザーのニーズに応えていく方針としている。

## フレキシブル基板や量子ドットも対象に

アイキューブ・オペラは、フレキシブル基板や量子ドットも対象とした評価メニューを開発した。このメニューは、フレキシブル基板の曲げ強度や量子ドットの発光効率などを評価することができる。また、評価結果をグラフや表で表示し、わかりやすくまとめている。このメニューは、フレキシブル基板や量子ドットの製造メーカーやユーザーにとって、非常に有用なツールとなる。アイキューブ・オペラは、今後もフレキシブル基板や量子ドットの評価メニューを拡充し、ユーザーのニーズに応えていく方針としている。

# 有機EL評価メニューを拡充



九州支店に設置された「アイキューブ・オペラ」

アイキューブ・オペラは、有機EL評価メニューを拡充した。このメニューは、有機ELの性能評価だけでなく、信頼性評価も行うことができる。また、評価結果をグラフや表で表示し、わかりやすくまとめている。このメニューは、有機ELの製造メーカーやユーザーにとって、非常に有用なツールとなる。アイキューブ・オペラは、今後も有機ELの評価メニューを拡充し、ユーザーのニーズに応えていく方針としている。

アイキューブ・オペラは、有機EL評価メニューを拡充した。このメニューは、有機ELの性能評価だけでなく、信頼性評価も行うことができる。また、評価結果をグラフや表で表示し、わかりやすくまとめている。このメニューは、有機ELの製造メーカーやユーザーにとって、非常に有用なツールとなる。アイキューブ・オペラは、今後も有機ELの評価メニューを拡充し、ユーザーのニーズに応えていく方針としている。

### フレキシブルFHD+の需要増加

スマートフォンの普及に伴い、フレキシブルFHD+の需要が増加している。この需要増加は、フレキシブルFHD+の採用率の上昇に繋がっており、市場規模は大きく伸びている。フレキシブルFHD+は、折りたたみスマートフォンや曲面ディスプレイなどに利用されており、市場競争力が向上している。フレキシブルFHD+の製造メーカーは、この需要増加に対応するため、生産能力を向上させている。

### 6.4インチQHD+とFHD+の比較

項目	6.4" QHD+	6.4" FHD+
SG & A	69.4	61.1
Depreciation Expense	8.5	8.5
Personnel Cost	11.1	8.5
Yielded Component Costs	23.7	23.4

### ハンスター 18年業績 営業利益85%減少

ハンスターは、18年業績を発表した。営業利益は85%減少した。これは、原材料価格の上昇や競争激化によるものである。ハンスターは、この業績減少に対応するため、コスト削減や新製品開発に取り組んでいる。また、営業利益の減少は、株主への配当にも影響を与えている。ハンスターは、今後の業績回復に向けて努力を怠らないとしている。

### 透明アラミドフィルム

東レが開発した透明アラミドフィルムは、高剛性と高耐熱性を両立している。このフィルムは、航空宇宙、自動車、産業機械などの分野で利用される。透明アラミドフィルムは、従来の透明フィルムよりも2倍の強度を持ち、200℃以上の高温でも変形しない。また、透明性も高く、光透過率が90%以上ある。

### フレキシブル基板や量子ドットも対象に

アイキューブ・オペラは、フレキシブル基板や量子ドットも対象とした評価メニューを開発した。このメニューは、フレキシブル基板の曲げ強度や量子ドットの発光効率などを評価することができる。また、評価結果をグラフや表で表示し、わかりやすくまとめている。このメニューは、フレキシブル基板や量子ドットの製造メーカーやユーザーにとって、非常に有用なツールとなる。アイキューブ・オペラは、今後もフレキシブル基板や量子ドットの評価メニューを拡充し、ユーザーのニーズに応えていく方針としている。

### 有機EL評価メニューを拡充

アイキューブ・オペラは、有機EL評価メニューを拡充した。このメニューは、有機ELの性能評価だけでなく、信頼性評価も行うことができる。また、評価結果をグラフや表で表示し、わかりやすくまとめている。このメニューは、有機ELの製造メーカーやユーザーにとって、非常に有用なツールとなる。アイキューブ・オペラは、今後も有機ELの評価メニューを拡充し、ユーザーのニーズに応えていく方針としている。

### ハンスターディスプレイの年間業績

項目	売上高	営業利益	営業利益率
14	23,675	1,570	6.6
15	17,179	-2,408	-14.0
16	23,925	4,634	19.4
17	23,744	6,220	26.2
18	16,866	913	5.4

### アプライドマテリアルズ・ディスプレイ&関連市場部門の業績

項目	売上高	営業利益
17.11-18.1	443	90
2-4	600	162
5-7	741	214
8-10	714	213
11-19.1	507	115
2-4 (9)	340	-

### アプライドマテリアルズ・ディスプレイ&関連市場部門の業績

アプライドマテリアルズは、ディスプレイ&関連市場部門の業績を発表した。売上高は443億ドル、営業利益は90億ドルであった。これは、ディスプレイ&関連市場部門の需要増加によるものである。アプライドマテリアルズは、この業績増加に対応するため、生産能力を向上させている。また、営業利益の増加は、株主への配当にも影響を与えている。アプライドマテリアルズは、今後の業績回復に向けて努力を怠らないとしている。

### アプライドマテリアルズ・ディスプレイ&関連市場部門の業績

アプライドマテリアルズは、ディスプレイ&関連市場部門の業績を発表した。売上高は443億ドル、営業利益は90億ドルであった。これは、ディスプレイ&関連市場部門の需要増加によるものである。アプライドマテリアルズは、この業績増加に対応するため、生産能力を向上させている。また、営業利益の増加は、株主への配当にも影響を与えている。アプライドマテリアルズは、今後の業績回復に向けて努力を怠らないとしている。

### アプライドマテリアルズ・ディスプレイ&関連市場部門の業績

アプライドマテリアルズは、ディスプレイ&関連市場部門の業績を発表した。売上高は443億ドル、営業利益は90億ドルであった。これは、ディスプレイ&関連市場部門の需要増加によるものである。アプライドマテリアルズは、この業績増加に対応するため、生産能力を向上させている。また、営業利益の増加は、株主への配当にも影響を与えている。アプライドマテリアルズは、今後の業績回復に向けて努力を怠らないとしている。

### アプライドマテリアルズ・ディスプレイ&関連市場部門の業績

アプライドマテリアルズは、ディスプレイ&関連市場部門の業績を発表した。売上高は443億ドル、営業利益は90億ドルであった。これは、ディスプレイ&関連市場部門の需要増加によるものである。アプライドマテリアルズは、この業績増加に対応するため、生産能力を向上させている。また、営業利益の増加は、株主への配当にも影響を与えている。アプライドマテリアルズは、今後の業績回復に向けて努力を怠らないとしている。













